

ノウフク・アワードについて

中国四国農政局
都市農村交流課

- 全国で農福連携に取り組む団体等を募集し、農福連携の優れた取組をノウフク・アワードとして表彰。農福連携の国民運動としての機運を高め、**全国的な展開につなげること**を目的として開催。
- 令和2年度に初開催し、「みんなで耕そう！」をスローガンに、「人を耕す」「地域を耕す」「未来を耕す」の観点から優れた取組を表彰。これまでの5年間で、のべ110件(44都道府県)が受賞。
- ノウフク・アワード2024では、障害者の農業生産・加工・販売での活躍、観光や輸出等との連携による工賃向上、地域の高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者、犯罪をした者等の農業を通じた社会参画、林福連携、水福連携等の、農福連携等を通じた地域共生社会の実現に資する多様な事例が受賞。

取組概要

応募対象

全国で農福連携に取り組んでいる団体等

選定方法

「人を耕す」、「地域を耕す」、「未来を耕す」
との観点から、優れた取組に対して
以下の賞を授与
「グランプリ」、「準グランプリ」、「優秀賞」
「フレッシュ賞」(取組開始5年以内の優れた取組)
「チャレンジ賞」(「農」や「福」の広がりに向けた取組)

審査委員

*審査委員長

中嶋 康博*(東京大学大学院農学生命科学研究科教授)
濱田 健司(東海大学文理総合学部 教授)
松森 果林(ユニバーサルデザインアドバイザー)
村木 厚子(全国社会福祉協議会 会長)
米田 雅子(東京科学大学環境・社会理工学院特任教授)

2024表彰式の開催



官房長官・4大臣による祝辞



ノウフクアンバサダー
城島 茂 さん

農福連携は人の心を耕す取組。
頑張っている汗を伝えていきたい。



ノウフク・アワード2024

「ノウフク・アワード2025」表彰21団体

グランプリ

①株式会社ココトモファーム（愛知県犬山市）

・農福連携の取組により自社栽培したお米を活用し、パウムクーヘンなどの米粉スイーツを製造・販売。地域外企業との連携や、障害者が活躍する店舗の設置など、地域共生と多様性のある雇用創出を実現。

準グランプリ（人を耕す）

②社会福祉法人新友会 ひまわり畑（大分県大分市）

・提携企業と連携して、高菜の栽培から一次加工、二次加工までを実施。地域農家の農作業受託や農業生産法人への一般就労などを通じて、地域農業に貢献。

準グランプリ（地域を耕す）

③佐賀県（佐賀県佐賀市）

・県のコーディネーターを中心とした農業経営体と障害者就労施設のマッチング支援により、工賃向上や農地の維持、農業経営体の規模拡大に貢献。中間支援者のためのマニュアル作成など、「佐賀モデル」が全国へ波及。

準グランプリ（未来を耕す）

④ぽかぽかワークス（愛知県名古屋市）

・障害者、生活困窮者、ひきこもり、刑務所出所者等の多様な者で、農福連携×都市農業による米の付加価値向上を行う。また、ユニアーサル農園の開設により、多様な人材が参加・交流できる場を創出。

優秀賞

⑤特定非営利活動法人楽園プロジェクト（北海道札幌市）

・『戦力になる農福連携』をテーマに、24時間365日作業受託可能な体制で農作業チームを結成し、平均工賃9.5万円以上を実現。冬場には荒廃農地を利用して園芸植物栽培を行い、年間を通じた作業を創出。

⑥株式会社エール 多機能型事業所にじのいろ（青森県板柳町）

・耕作放棄地を活用し、AIによる自動灌水・施肥システムで作業の効率化を図りながら、高品質な果物や野菜を生産。施設外就労による複数の地域農家との農福連携やノウフクJASの活用を通じて、高賃金を実現。

⑦埼玉県立川越総合高等学校（埼玉県川越市）

・特別支援学校と連携して地元狭山茶の栽培管理等や、地鶏の飼育から商品開発・販売までの6次産業化に取り組むことで双方の生徒の進路選択の幅を広げ、将来のキャリアを考えるきっかけ作りに貢献。

⑧株式会社ピーカブー（神奈川県三浦市）

・特例会社に農作業を委託し、作業の細分化やスマート農業の導入により収益性と生産性が向上。より多様な人材が活躍できる環境が整備され、現在は外国人労働者と共に障害者が農作業で活躍。

優秀賞

⑨特定非営利活動法人にじのかけ橋（静岡県三島市）

・生産から販売まで障害者等が一貫して関わり、作業工程の効率化や6次産業化により収益性を確保し、工賃向上を実現。多様な人々が関わる仕組みづくりと地域内外の連携に取り組み、地域農業の維持・発展にも貢献。

⑩株式会社農楽里（福井県あわら市）

・AIやスマート農業を活用することで障害者の作業領域を大幅に拡大。水稻栽培や観光いちご農園等に取り組み、楽しく多様な農福連携を実現。

⑪社会医療法人みどり会 さんさんグリーン（大阪府枚方市）

・荒廃農地を活用し、京野菜や宇治抹茶の生産・加工・コミュニティカフェ運営を展開。ろう者を中心とした利用者の高工賃を実現するとともに、地域活性化に貢献。

フレッシュ賞

⑫社会福祉法人みんなの輪 あいあいファームわ・は・わ田尻

・ひなた農場（宮城県大崎市）
事業所開所時に養豚場の一部業務を受託し、養豚業を開始。その後、廃業予定であった別の養豚業者から事業継承を受け、現在は母豚230頭、育成頭数2,200頭の一貫生産を実施し、地域の畜産業の維持に貢献。

⑬株式会社みずほライス（秋田県横手市）

・施設外就労等で障害者を受け入れ、AIを活用しながら工賃の向上を実践。ICT業界と農業界を繋ぐ農工福連携の実現を目指し、取組を実施。

⑭JX金属コーポレートサービス株式会社 内原ファーム

（茨城県水戸市）
・JX金属株式会社の特例子会社。多様な方が生き生きと働く社会の実現を目指し、自前型・援農型両方の農福連携を実施。

⑮特定非営利活動法人笑福（三重県紀北町）

・様々な関係者と連携して農林水産業の多様な仕事を農福連携等で請け負い、年間を通して作業を確保。生きづらさや働きづらさを抱えた障害者や引きこもり、生活困窮者等の地域における居場所作りに貢献。

⑯福岡正信自然農園（愛媛県伊予市）

・障害者や生きづらさを抱える者等に対し、滞在型の自然農法による農作業を提供。地域との交流を図りながら多様な人が働く環境を創出し、定住や新規就農へと繋げる取組を実施。

チャレンジ賞

⑰株式会社きりん きりんの里（青森県平川市）

・福祉と地域が連携し、希少な津軽漆の苗木生産から加工・販売まで一貫して行う取組により、障害者の就労、工賃向上、一般就労の機会創出とともに、持続可能な地域づくりと伝統文化の継承に寄与。

⑲株式会社風鉢（秋田県東成瀬村）

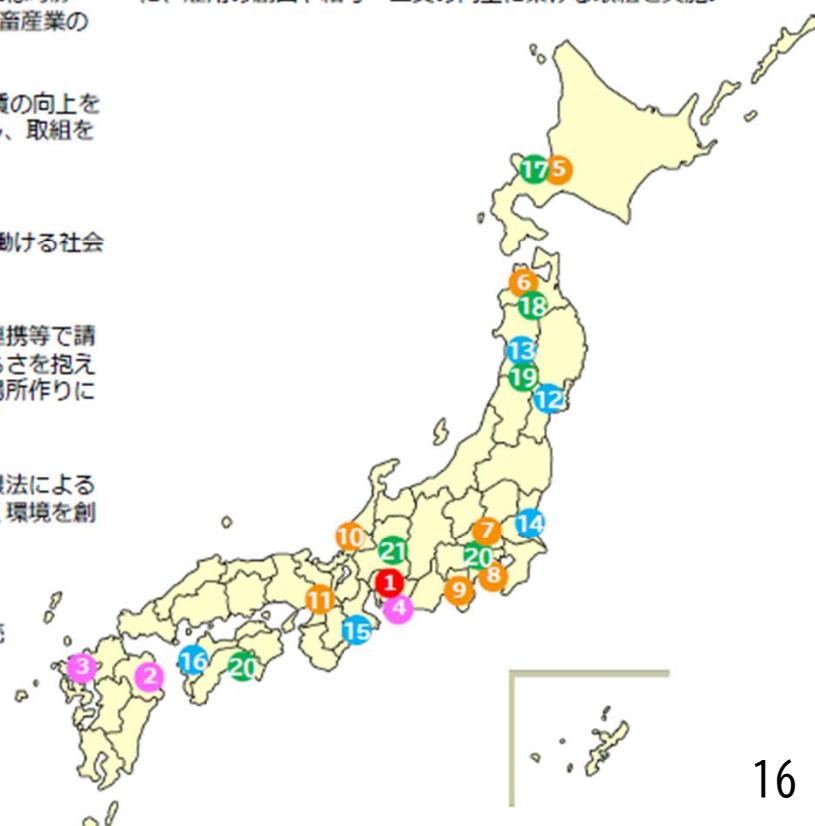
・高齢者施設において、機能訓練を兼ねた夏野菜栽培や天日干し米づくり、稻わら飾りの制作・販売を通じて、高齢者が最期まで生きがいを持って働く場を実現。

⑳全国農業協同組合連合会 農種資材部 施設園芸企画課・ゆめファーム全農こうち（東京都千代田区・高知県安芸市）

・大規模施設園芸における労働力確保のため、障害者就労施設と連携。周年栽培と作業のマニュアル化により誰でも働く環境を構築し、安定労働と就業機会を拡大。

㉑株式会社マテリアル東海（岐阜県下呂市）

・施設外就労として、養蚕の全工程及びいちごハウス内業務を委託。有効資源の活用と伝統産業の復興による地域活性化を図るとともに、雇用の創出や給与・工賃の向上に繋げる取組を実施。



登録無料

随时、イベント、研修、交付金等の情報をご案内

ノウフク

中国四国農政局管内の農林水産分野における障害者等の雇用・就労の促進を図るため、農林水産業関係者、福祉関係者、行政機関等を会員とする「中国四国地域農福連携推進ネットワーク」を開設し、メールマガジンやホームページをとおして、農福連携に関するイベントや支援制度等の会員情報を発信をしています。

仕組み

- ① 事務局は中国四国農政局が担当
- ② 会員は加入希望者とし、加入脱退は随时可能
- ③ 登録料や会費などはありません



加入を希望される方は、加入申込フォームに必要事項を入力の上、送信をお願いします。

※ 加入申込の情報は、農福連携の促進に資するため、国の機関及び地方公共団体と情報共有させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お問合せ先

農林水産省中国四国農政局農村振興部
都市農村交流課農福連携推進係
電話 086-224-4511 (内線2158)



加入申込フォーム



ご清聴ありがとうございました。